



33年をかけて多頭経営を築き上げた モデル的肉用牛繁殖経営

宮崎県清武町
増田純一・哉枝

地域の概要

宮崎県



清武町の農業産出額上位10品（平成17年）

区分	農産物	産出額 (1,000万円)	構成比 (%)
	計	604	100.0
1	きゅうり	86	14.2
2	葉タバコ	64	10.6
3	繁殖農家戸数 98戸 (繁殖雌牛約1,400頭飼養)	52	8.8
4	平均飼養頭数 15頭 (県平均の1.5倍)	42	7.0
5	米	34	5.6
6	種卵	X	X
7	鶏卵	40	4.8
8	千切りだいこん	30	4.8
9	千切りだいこん	23	3.8
10	鶏卵	X	X

宮崎県生産農業所得統計より

区 分	成 雌 牛			子 牛	育成牛
	経産牛	未經産牛	計		
平 均	61.7	5.4	67.1	46.0	2.5
期 首	57	6	63	39	3
期 末	65	5	70	43	4
出 荷				53	
保 留				7	

成雌牛の 8 5 %が自家保留牛



私の家族

経営の推移1(複合経営時代)

年次	作物	規模	内容
S49年	肉用牛	6頭	●農業高校卒業後就農
	みかん等	156a	
S55年	肉用牛	15頭	●県畜産談話会に参加 ●母牛管理・子牛育成 技術の情報を収集
	みかん等	156a	
S60年	肉用牛	23頭	●結婚を機に肉用牛多 頭経営を目指す
	みかん等	130a	

飼養頭数にあった自給飼料面積を確保

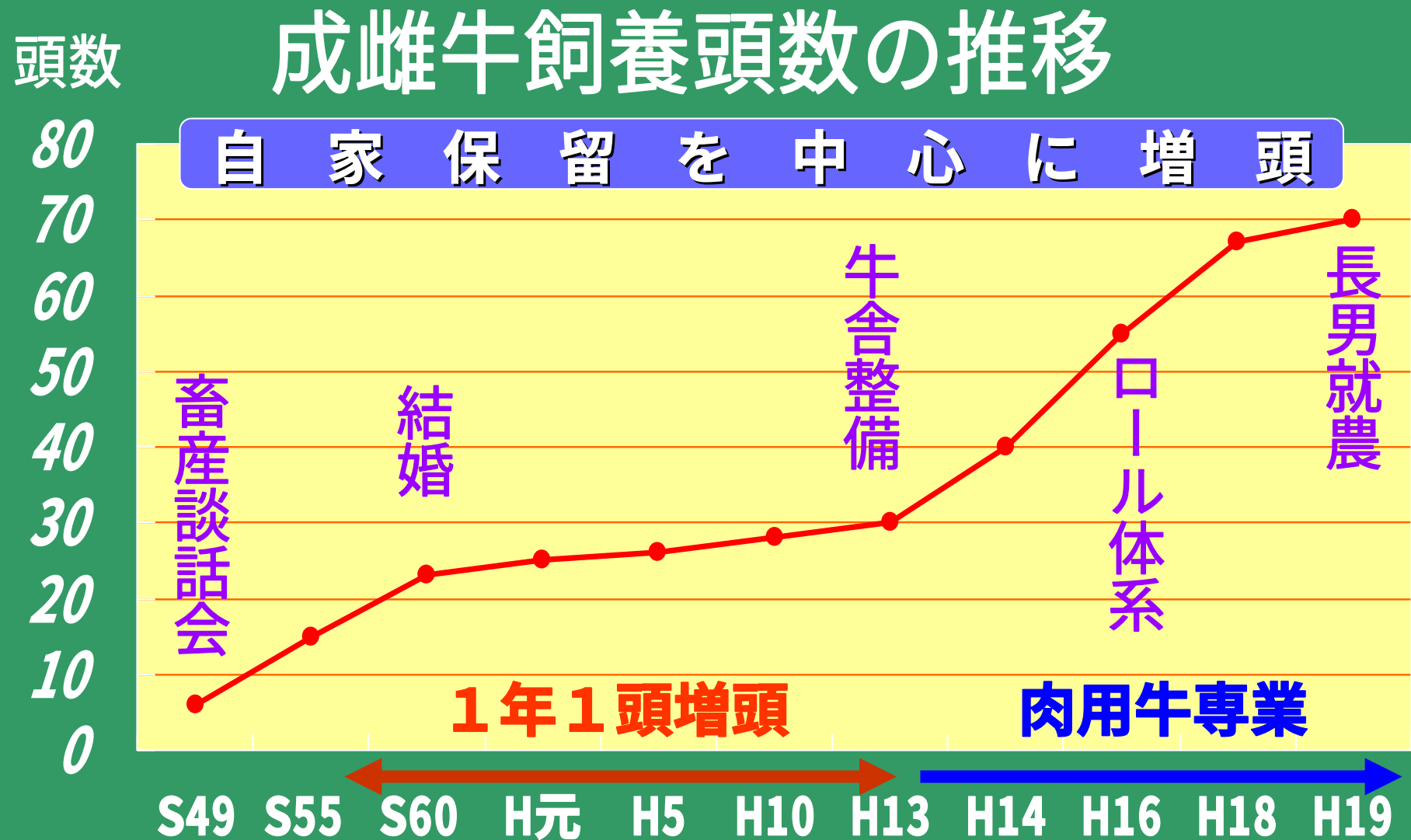
経営の推移2 (専業経営)

年次	作物	規模	内容
H13年	肉用牛	30頭	●酪肉基本方針啓発普及 事業に取り組み70頭規模牛舎整備
H14年	肉用牛	40頭	●事業目的達成と事業効果検証及び更なる経営向上のために畜産会の経営診断を受診

年次	作物	規模	内容
H16年	肉用牛	60頭	●自給飼料効率化を目指しロール体型へ変更
H18年	肉用牛	70頭	●長男が農業大学校を卒業後就農

父親の
「借り入れをしない事」
 という教えを忠実に守る！

規模拡大の推移



成雌牛1頭当り自給飼料面積10a (延べ作付け20a) 確保



・ロールベールサイレージを中心に給与

・ボディーコンディション「5」を目安に管理

育成期間の栄養管理が重要

平成13年度酪肉基本方針啓発普及事業
(モデル経営育成対策事業) により牛舎整備

分娩間隔の推移

分娩間隔

14.0

13.5

13.0

12.5

12.0

11.5

11.0

全国先進事例

12.7

12.8

13.0

13.1

12.7

12.8

牛舎整備

12.3ヵ月

11.8

11.6

11.7

11.7

11.8

増田牧場

13年

14年

15年

16年

17年

18年

- 平均種付け回数：1.4回
- 1回の種付けで受胎した割合：70%

ポイント：十分な観察





「餌付け」のポイント

- ①濃厚飼料による骨格づくり
- ②良質粗飼料の給与

「離乳」のポイント

- ①当初の子牛が泣くストレスを抑える



ポイント

①食い込みを良くする

②新鮮な水をあたえる

＊温水給与による冬場対策

A photograph of two black cows standing in a wooden stall. The cow on the left has a yellow ear tag with the number 8296. The cow on the right has a yellow ear tag with the number 8297. They are both looking towards the camera. The stall has wooden railings and a wooden floor. In the background, there is a window with a view of green grass.

ポイント

①北海道産チモシーの給与による
腹づくり

＊「増体が良い」と好評

子牛販売成績

区 分		18年実績
雌子牛	子牛出荷頭数（頭）	20
	出荷時日齢体重（Kg/日）	0.898
	1頭当たり販売価格（円）	587,895
去勢子牛	子牛出荷頭数（頭）	33
	出荷時日齢体重（Kg/円）	1.034
	1頭当たり販売価格（円）	589,909

雌子牛市場平均より **3.5万円高**で販売

敷 料

エノキ茸使用済み菌床 と 鋸くずを使用

堆肥舎

堆肥利用

年間堆肥生産量
360t

自給飼料生産
70%

稲ワラとの交換
20%

販売
10%

自給飼料生産

区 分		実面積 (a)		生産利用のべ面積	
			借地面積		借地面積
耕地	水田	32			
	畑	600	300	1,150	600
	計	632	300	1,150	600

成雌牛当り作付け延べ面積：17a

稲ワラの梱包作業



作付け体系

夏作：スーダン・ロール用ソルゴー
冬作：イタリアン・エン麦
地元稲ワラ確保量：630a分



区 分		T D N量 (Kg)	割合 (%)	
購入	濃厚飼料	56,231	32	42
	粗飼料	16,747	10	
自給	粗飼料	95,558	56	58
	稲ワラ確保分	3,422	2	
	計	171,958	100	100

粗飼料自給率：86%

生産コストの状況 (18年実績)

単位:円

主な費用	成雌牛当たり	出荷子牛当たり
購入飼料費	93,595	118,495
もと畜費	14,662	18,563
労働費 (家族)	58,122	73,858
衛生費	13,348	16,900
減価償却費	62,755	79,450

成雌牛当たり生産費用	33.2万円
出荷1頭当たり生産原価	33.0万円
所得率	45%

COW飼う塾

NOSAIみやざき
中部診療所
柳 花介

“地域後継者づくり”
“生産技術の向上”

のための勉強会

第9回全国和牛能力共進会
第5区 [繁殖雌牛群] に宮崎県代表として出品



さくら号 (安平×福茂×菊安)

第9回全国和牛能力共進会 第5区 [繁殖雌牛群] 優等賞首席



ご静聴
ありがとうございました。